

# 門脇麦さんと思いをめぐらす

## 大河ドラマ「麒麟がくる」と明智荘

明智光秀が青年時代を過ごしたとされる明智荘。そんな明智荘も物語の舞台となる大河ドラマ「麒麟がくる」。ヒロイン・駒を演じる門脇さんに、このドラマにかけた思いや撮影の裏話などをお話ししていただきます。(文中敬称略)



「駒」  
光秀が京で出会う娘。医師・望月東庵の助手。戦災孤児で、伝説のいきもの・麒麟の存在を信じている。ドラマのオリジナルキャラクター。

### 大河ドラマに出演して

**職員** 門脇さんにとって「麒麟がくる」は、2作目の大河ドラマの出演ですが、前回の「八重の桜」と比べていかがですか。

**門脇** 「八重の桜」では、綾瀬はるかさん演じる主人公・八重の姪である久患(ひさえ)という役を演じたのですが、久患が登場するのは物語終盤の2週ほどで、撮影期間はトータルで1週間くらいでした。しかし「麒麟がくる」では初回からずっと登場している役なので、その違いは大きいと思いますね。すでにドラマの世界観が出来上がっているところに途中から登場するのと、一からみんなで作ってきて、その作品の空気感を知っているのでは全然違うという印象です。途中から登場した前作は、すでに登場している人物に行動をおこさせるために影響を与える役だったので、とても難しかったですね。一方で、駒は物語の冒頭から登場して、後から出会う人々に刺激されて成長していきます。物語に長く関わる役を演じたいと思っていたので、今回は初めから一つの作品に携われる楽しさがすごくあります。

**職員** 大河ドラマの撮影は他のドラマと違いますか。



**門脇** 史実にある人物はある程度その人生の筋があるじゃないですか。でも、オリジナルキャラクターは、脚本の池端俊策さんが動かしたいように動かせるキャラクター。駒のほかにも東庵先生、菊丸や伊呂波太夫などが、このドラマのオリジナルキャラクターですが、どのキャラクターにも池端さんの思いが詰まっていると思います。「麒麟がくる」を通して池端さんが視聴者の方に何を伝えたいのかというのは、このオリジナルキャラクターに注目していただくと、より深く楽しんでいただけるのではないのでしょうか。

**職員** 今までの撮影を振り返って、印象に残っている場面はございますか。

**門脇** たくさんありますね。でも、今回の「麒麟がくる」では、各場面がとても貴重というか、それぞれに重

**門脇** すばらしいですね。可児市の皆さん、「麒麟がくる」を盛り上げてくださってありがとうございます。すぐ帰りたいです。

できるわけではないんです。本来どつするべきかということを見発的に所作の先生に聞いて撮影に臨んでいます。そもそも何に気を付けたいのかかわらないこともあるので、積極的に相談をするようにいつも心がけています。

**職員** 駒をこういう視点でみると面白い！というものがあれば教えてください。

**門脇** 史実にある人物はある程度その人生の筋があるじゃないですか。でも、オリジナルキャラクターは、脚本の池端俊策さんが動かしたいように動かせるキャラクター。駒のほかにも東庵先生、菊丸や伊呂波太夫などが、このドラマのオリジナルキャラクターですが、どのキャラクターにも池端さんの思いが詰まっていると思います。「麒麟がくる」を通して池端さんが視聴者の方に何を伝えたいのかというのは、このオリジナルキャラクターに注目していただくと、より深く楽しんでいただけるのではないのでしょうか。

**職員** 今までの撮影を振り返って、印象に残っている場面はございますか。

**門脇** たくさんありますね。でも、今回の「麒麟がくる」では、各場面がとても貴重というか、それぞれに重

**職員** 可児市には、明智光秀の生まれ育った明智荘があったといわれており、「麒麟がくる」のゆかりの地として地元は盛り上がっています。

ることもあります。そして次の撮影までまた2週間空いてしまうということもあり、駒としていつも同じスタンスを維持することが大変です。ドラマの進行に合わせて年齢も重ねていかなければなりません。例えば、22歳の時のシーンを撮って、その1週間後に25歳の時のシーン、1カ月後にまた22歳のシーンを撮ることもあります。撮影中、その時々年齢を意識しながら演技していても駒の役柄を把握しきれていない部分もあったりして、次の撮影でどう演技しようかと考えながら、毎回放送を見ています。どの作品も完成したのを見る時は緊張するんですけど、このドラマは、毎回見るのがこわいです(笑)。

**職員** 歴史ドラマとなると、所作も学ばれたのでしょうか。

**門脇** 駒は庶民なので、帰蝶様のようなお姫様よりは所作に関してかちっとした決まりは多くはありません。でも、それゆえに難しいというか、知らず知らずのうちにやってしまう立ち居振る舞いとかがあるんです。撮影本番では所作の先生もいらっしゃるのですが、出演者の方が大勢いるので全員の所作を完璧にチェック

**大河ドラマ活用推進室職員(以下、職員)**  
本日はお忙しい中、ありがとうございます。よろしくお願いします。よろしくお願ひします。

**門脇** 違いますね。一番違うところはスケールの大きさです。本当にたくさんの人たちと、たくさんさんの時間をかけて作られている作品です。例えば、撮影前の支度でいうと、メイクをして髪を結ったり、かつらを付けたり衣装を着てという、そこまでの準備だけでも現代ドラマとは比べ物にならないくらい時間がかかります。さすが大河ドラマ、本当にすごいと思います。

### 「麒麟がくる」で駒を演じて

**職員** 駒の役作りにあたっての感想を教えてください。

**門脇** 駒はすごく難しい役ですね。最初から今に至るまで、試行錯誤しながら役作りしています。1カ月、自分の撮影がないこともありまして、久しぶりに撮影現場に行くと、朝から夜まで撮影をして夜になってやっと駒としての感覚が完全に戻ってくる



でも、それゆえに難しいというか、知らず知らずのうちにやってしまう立ち居振る舞いとかがあるんです。撮影本番では所作の先生もいらっしゃるのですが、出演者の方が大勢いるので全員の所作を完璧にチェック